

第 20 回講座 … 鋳造シミュレーション

Q1. 鋳造シミュレーションを利用することで一般的にどんなメリットが期待できると考えられますか？

Q2. 中堅鋳造解析ソフトのソルバーで採用されている「直交差分法」は、湯流れや凝固の理論式をどのようにして計算していますか？

Q3. 鋳造シミュレーションで解析を行うに当たり、材料物性や境界条件を与えますが、凝固解析で与えるべき境界条件にはどのようなものがありますか？

Q4. 数値計算による鋳造シミュレーションの結果と実際の鋳造との間に誤差が出るのはなぜですか？ その原因について説明してください。

Q5. 鋳造シミュレーションを利用する際に配慮すべき「解析コスト」とはどのようなことを指しますか？ また、解析コストを低く抑えるにはどのような方法がありますか？